

中村ただしの幸せ市政プラン実現日記

Part 4 交通先進都市しらおか①「安全第一」

中村 今年5月、滋賀県大津市において、散歩中に信号待ちをしていた保育園児ら16名が、歩道に進入した軽自動車に轢かれ、うち2名の園児が死亡するという痛

前々号から取り上げてきた「コンビニ発行」の公約が無事実現する運びとなりましたので、今回からは道路のお話をしたいと思います。4年前に市議会議員に立候補した時に道路に関する「要望をたくさんいただきましたので、私の公約「幸せ市政プラン」の第1点目には「交通先進都市しらおか」を掲げ、その冒頭には「安全で快適な交通のために幹線道路と生活道路の整備を推進するとともに、長期的な道路計画については見直しも含めた抜本的な改革を提案します」と謳いました。「命あつて物種」という諺がある通り、いくら利便性が高くとも、交通は安全でなければ全く意味がありません。「安全」という言葉をこの公約の冒頭に持ってきたことは、まさにこのような意味を籠めています。この「安全」については令和元年9月議会の一般質問で取り組みましたので、その要旨をお伝えします。

◇ ◇ ◇

部長 総合運動公園周辺の歩道内に設置している車止めポールは、幅員が広い歩道へ（駐車目的）車輪が入るのを防止するためには、通学路の安全確保については、市内の小中学校において毎年通学路の安全点検を実施しており、その結果に基づいて学校・教育委員会・

前々号から取り上げてきた「コンビニ発行」の公約が無事実現する運びとなりましたので、今回からは道路のお話をしたいと思います。4年前に市議会議員に立候補した時に道路に関する「要望をたくさんいただきましたので、私の公約「幸せ市政プラン」の第1点目には「交通先進都市しらおか」を掲げ、その冒頭には「安全で快適な交通のために幹線道路と生活道路の整備を推進するとともに、長期的な道路計画については見直しも含めた抜本的な改革を提案します」と謳いました。「命あつて物種」という諺がある通り、いくら利便性が高くとも、交通は安全でなければ全く意味がありません。「安全」という言葉をこの公約の冒頭に持ってきたことは、まさにこのような意味を籠めています。この「安全」については令和元年9月議会の一般質問で取り組みましたので、その要旨をお伝えします。

松本議員との連携プレーで、車止めポールの設置が実現！（実ヶ谷交差点にて）



ましい事故が起きた。この事故が明らかにしたのは、子どもや保護者の側がいくら注意をしていたとしても、死亡交通事故として十分な安全設備を設置することが決定的に重要である。

すなわち、保育園の散歩コースや小中学校の通学路においては、まずは歩道に縁石やガードレール・ガードパイプを設置することがきわめて重要だが、決してそれだけで十分ではなく、交差点にもしっかりと車止めのポールを設置しなければ事故を防ぎることはできない。当市においてもこのような安全設備をなるべく早く設置していくべきだ。

この点、街を見回ると、例えば総合運動公園の周辺等では、今回の事故が起きる前から交差点への車止めポールが設置されているようだ。他方、通学路であってもほとんどの交差点では車止めポールが未設置となっている。そもそもこの車止めポールはいかなる方針・順序に基づき設置されているのか。特に、小中学校の通学路や保育園の散歩コースについて優先的に設置する等の方針はあるのか。

また、通学路であっても縁石やガードレール・ガードパイプが設置されていない箇所を多く見かける。いかなる方針・順序に基づき設置されているのか。

部長 まずは5箇所に車止めポールを設置し、さらに通学路のほか保育園の散歩コース等にも対象を拡大していきたいという非常に積極的なご答弁であった。是非その方向でお願いしたい。

◇ ◇ ◇

部長が頑なに「車止めポール」と呼ばず「交通安全施設」と呼んでいるのは、同じ会派の松本議員が同年6月議会で行った一般質問に対し、部長が「事故を教訓に、通学路をはじめ歩行者の多い主要な交差点等において、車輪が容易に歩道内に進入し歩行者等を巻き込むことがないよう、ガードレール等『交通安全施設』の設置を検討ていきたい」と答弁していたことをふまえたものです。

勿論、ガードレールと車止めポールの両方がなければ交差点の安全は確保できませんから、この意味で松本議員との連携プレーは非常に良い結果をもたらしました。また、執行部は、当方から質問の通告を行った時点で既に「交通安全施設」の予算化の準備を進めていたようですが、これは勿論6月議会の松本議員の一般質問を受けてのもの

安心安全課・道路課・杉戸県土整備事務所が危険箇所を把握し、緊急性等を考慮した上で必要な対策を講じている。

大津市の事故を契機に、当市では小中学校の通学路となっている市道で、歩行者の多い主要な交差点を抽出し、車輪が歩道内に進入し歩行者等を巻き込むこととし、まずは5箇所の交差点について

置が10箇所に増えたことで、私の地元実ヶ谷でも交差点に車止めポールが設置されることとなり、大変ありがたく感激した次第です。議員同士の連携が政策実現にあたつて大きな力になることを、この時に実感しました。

通学路の側溝ふた架けや横断歩道の設置要望、歩道整備の陳情等にも、行政区長さんと連携して一生懸命取り組んでいます。

市役所の担当課で直接働きかけるのは勿論のこと、委員会や全員協議会での質疑や、本会議での一般質問等、ありとあらゆる機会と手段を活用して、行政区の要望が実現されるよう働きかけを行っています。そのほか、歩道整備の陳情の際には、行政区長さんと一緒に地権者の方々を一軒一軒訪ね歩いたりもしましたし、横断歩道の設置に関しては県議会議長経験者の先生にお願いに行ったりもしました。

このような一つ一つの地道な積み重ねにより、皆様がもっと安全に暮らせる白岡を実現すべく、これからも引き続き全身全霊で取り組んでまいります。



看板の設置も実現
(令和3年4月)

